

2023.11.15

1999年から田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会の活動内容や地域の文化などを紹介してきた表浜地域づくり情報誌「潮騒」は、今年度、創刊から25年を迎えます。今回は、いまの地域に聞いたそれぞれの話題を発信します。

暮らしているうちに当たり前になっていた地域の魅力や課題のことを、考えてみませんか。わたし達のそんな時間が、きっと地域の未来に種を撒くでしょう。

潮騒

CONTENTS

- ◆特集1「地域の話題 田原市東部太平洋岸」…………… P1～2
- ◆特集2「キャンプだけじゃない!表浜ほうべの森(田原市谷ノ口公園)」…………… P3～4
- ◆連載「表浜の地形とくらし」～表浜における明治以降の集落移動について要因を見直す～…………… P5
- ◆田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会の概要…………… P6
- ◆表浜タイムズ…………… P7
- ◆令和5年度事業計画…………… P7



6月2日の豪雨後 東ヶ谷海岸の様子
(撮影:藤城信幸氏)

地域の話題【田原市東部太平洋岸】

神戸コミュニティ協議会

子どもたちが自然に触れる「里山里海体験会」

毎年海の日には、恵まれた自然を肌で感じてもらうことを目的とした「里山里海体験会」を、神戸コミュニティ協議会と表浜ほうべの森で共同開催しています。14回目の今年は7月17日に開催され、130人の子どもたちが参加しました。体験会では3年ぶりとなる地引網を行うことができ、とれた魚や海の生き物に触ってみる、ふれあい体験も行いました。子どもたちは自然を体感し、楽しい時間を過ごすことができました。



大草コミュニティ協議会

交流ひろがる陶芸教室

大草市民館にある工房では、毎月第2日曜日の9時から16時まで陶芸教室を開催しています。決まった先生はおらず、20代～70代まで幅広い参加者が互いに教え合ったり、アイデアを出し合ったりと、和気あいあいとした雰囲気の中で自由に制作を楽しんでおり、市民館まつりなどで作品の展示も行っています。また、この工房では大草小学校の6年生が卒業記念の作品づくりも行っています。開始から約20年続く陶芸教室は、今なお地域の大切な表現と交流の場となっています。





六連コミュニティ協議会

地引網とこれから

六連町には浜田・百々の2つの網元があり、毎年5月に六連小学校の全生徒が地引網を体験します。今年も子どもたちはみんなで力をあわせて網を引き寄せ、とれたたくさんの魚は、子どもたちに配られました。しかし、近年、浜田海岸は侵食により砂浜が減少し、干潮のときにしか地引網ができません。これからも地域の行事を続けていくためには、侵食対策が重要となっています。



田原東部コミュニティ協議会

和太鼓が響く夏まつり

8月5日(土)に、田原東部コミュニティ協議会主催で夏まつりを開催しました。櫓を組んでの本格的な開催は4年ぶりで、東部小学校の4～6年生23名が披露する和太鼓にあわせて盆踊りを行いました。今年度は有志で集まった「盆踊りクラブ」が率先して踊り、コロナ禍を経て久しぶりに盆踊りに参加された方も、楽しんで踊ることができました。模擬店の出店もあり、和太鼓が響く中、夏まつりを堪能することができました。



キャンプだけじゃない！ 表浜ほうべの森【田原市谷ノ口公園】

田原市南神戸町の谷ノ口地区に位置する「表浜ほうべの森」。太平洋のすぐそばで、自然とともに過ごすことができるほうべの森は、キャンプのほかにも楽しみ方は盛りだくさんです。魅力いっぱいの表浜ほうべの森を、気軽に利用してみませんか。



その1 定番のキャンプ

豊かな自然に囲まれた表浜ほうべの森のキャンプは、利用者からの満足度も高く好評をいただいています。

人気のため、なかなか予約がとれないという声もあがるほどで、令和4年度には定休日をなくして年末年始を除いた通年営業としたほか、今年の7月には利用者の要望に応じてキャンプサイトの上限も50サイトから60サイトに引き上げました。

テントの貸し出しも行っているので、キャンプに興味はあるけど道具を持っていないという方でもお気軽に楽しんでいただけます。

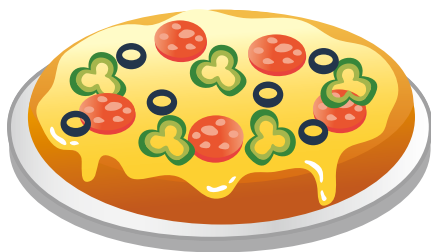
その2 バーベキューとピザ窯でおいしい時間を

キャンプをしない方でも、バーベキューやピザ窯をつかった本格的なピザづくりを楽しむことができ、友人や家族で集まって食事を楽しむ方も多くいます。

特にピザ窯には屋根があり、調理室を備えた研修棟を利用すれば、雨天などの天候に左右されずに利用することが自慢です。「アウトドアでは、天候に左右されてせっかくの予定を中止にしてしまうということもあるけど、ほうべの森ではそんな心配もなく利用できるのがうれしい。」と好評をいただいています。

また、ピザ窯の利用者からは、「家で焼くのもいいけれど、釜でピザを焼く体験をしてみたかったのでいい思い出になった。」という声もいただいています。

ぜひ、自然の中での特別な体験を楽しんでみてください。



自然の中でキャンプやバーベキューを楽しむ



ピザ窯で作るピザは格別なおいしさです

その3 多目的ホールなどで室内の利用も!

多目的ホールや研修棟などをレンタルして、利用をすることも可能です。長いコロナ禍の中で、室内の利用は自粛傾向にありましたが、地域の皆さんにまた来てほしいという願いを込め、7月17日の海の日に音楽イベントを開催しました。

イベントでは、多目的ホール内でライブを開催し、キッチンカーも集まり、来場者は音楽を聴き、おいしい食事をとりながら、楽しいひとときを過ごしました。

来場者の発熱もなく、安心して利用することができました。

多目的ホールは
ウミガメの甲羅をイメージした
六角形になっていて、
楽器や歌声がきれいに響くと
評判です



ライブの様子

多目的ホールを利用してみませんか?

- 楽器の練習
- 絵や写真などの作品展示
- 仲間とのちょっとした集まり
- 作業スペースが欲しいときに



これらの他にも、雨天時でも安心して利用できる室内は、アイデア次第で色々な使い方が可能です。コロナ禍があけた今、ぜひご利用ください。



キッチンカーも集まりました

表浜ほうべの森の想い

表浜ほうべの森は、東部太平洋岸総合整備促進協議会の代表という意識から、頑張ろうという想いを強く持ち続けることができています。

これからも、地域との関係性を大切に、表浜ほうべの森を皆さんとともに作り上げていきたいと思っています。

神戸地域の方々のほかにも、東部・六連・大草などの多くの皆さんに利用が広がり、たくさんの方々と交わることができる「みんなの場」でありたいです。散歩だけしたい、自然観察をしたいというときにも利用していただけますので、魅力たっぷりの表浜ほうべの森へ、ぜひお気軽にご来場ください。

利用料 【キャンプサイト】

野営場	2,000円(1サイト/1日)
かまど	800円(1基/1日)
炉	700円(1炉/1日)
ピザ窯	1,000円
コインシャワー	100円(3分)
テント貸出	1,500円(1張/1日)

【レンタルコミュニティ施設】

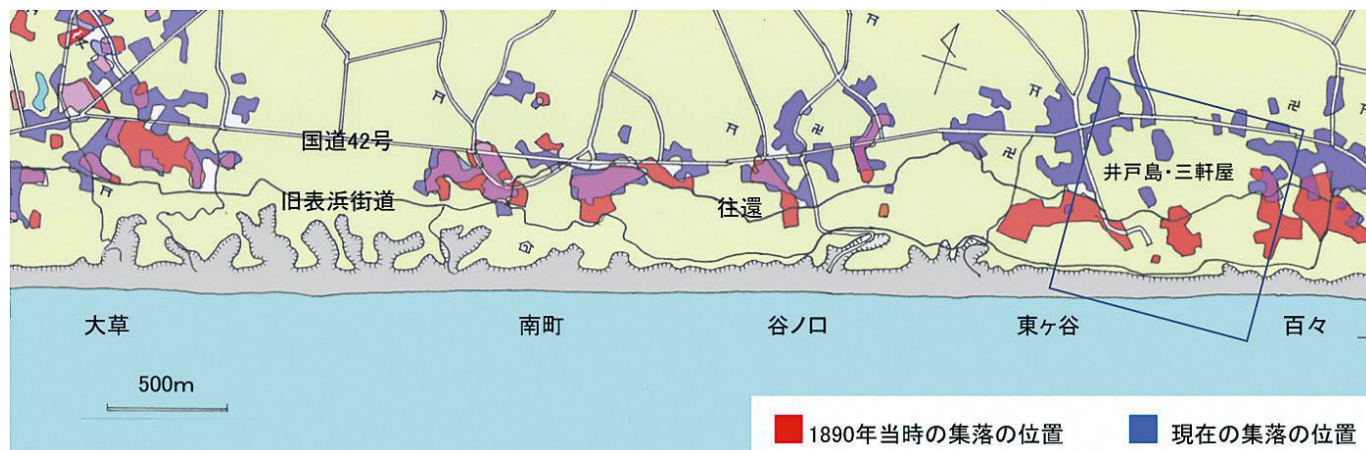
会議室	300円(1時間)
多目的ホール	1,000円(1時間)
研修棟	1,000円(1時間)

【お問い合わせ先】谷ノ口公園管理委員会(表浜ほうべの森管理棟)

TEL●0531-24-8901 FAX●0531-24-8902

表浜の地形とくらし

第6回 ～表浜における明治以降の集落移動について要因を見直す～／藤城信幸



【図1】1890年と現在の表浜集落の位置、旧表浜街道と国道42号の経路の比較(国土地理院の地形図から作成)

大草～六連までの太平洋岸は、高さ40～65mもの急峻な海食崖がそそり立ち、この崖を地元では「ほうべ」と呼んでいます。ほうべの背後は赤土の台地が広がり、ほうべ一帯はシイやツバキ等の照葉樹林が帯状に茂り、台風時の暴風や潮風から畑や屋敷を守る保安林として保護されています。ほうべの森には昔の廃道や元屋敷跡が残っています。

図1は、明治23年(1890)の地形図と現在の地理院地図を重ねて作成した集落分布図です。赤色が133年前の集落(元屋敷)、青色が現在の集落の位置です。紫色は2つの時代の集落が重複していることを示しています。

海食崖付近を通っていたのが、江戸時代からの表浜街道です。東ヶ谷や百々では、現在の集落の南方に133年前の集落があり、集落全体が北の内陸側に移動しています。表浜の集落移動の一番の要因は激しい海岸侵食にあるといわれてきました。しかし、第24号で述べたように、表浜で最も海岸侵食が激しいとされた大草海岸(年平均1.2mの侵食量)では、北への集落移動があまり見られません。



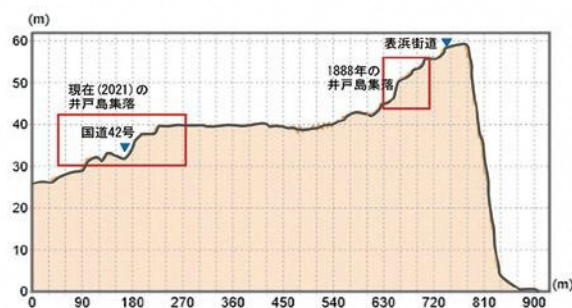
【写真1】東ヶ谷の井戸島・三軒屋の集落移転

元田原市教育長鈴木啓之氏の「渥美半島表浜の集落」(1956)を参考に東ヶ谷の集落移動について考えていきます。

写真1のように1888年の井戸島と三軒屋の集落は海食崖の北側斜面に集まっていた、旧表浜街道も海食崖上を東西に通っていました。現在は元屋敷跡が保安林になっています。鈴木氏は聞き取り調査(1956)から「集落移動の要因は、海食崖の崩落、強風対策、耕地の隣接の3つである。海食崖の崩落問題については1944年の東南海地震による影響が大きく、また1953年の13号台風の影響も甚大であった。耕地に隣接する理由として、漁業不振の影響が見られ、内陸の耕地の拡大が北部への進展の原因になった」と述べています。

ところが1917年の地形図を見ると、井戸島と三軒屋はすでに集落移動を終えており、その後に西側に隣接する集落も現在の国道42号付近まで移っているの、1944年の東南海地震以前に東ヶ谷では集落移動が進んでいたことになります。東ヶ谷の海食崖は東南海地震で大きく崩落し、旧表浜街道とともに海食崖を下る5か所もあった地引網の道が消失し、漁業不振もあり西側の1本しか再建されませんでした。

移転先の宅地は周りに土囲いをし、盛り土の上に樹木を植えて屋敷林をつくり防風対策をとっていました。集落は往還と呼ばれた幅2mの道で結ばれていましたが、昭和の初め(1933年頃)に新道(現国道4号)が開通し、宅地の北方への移転が促進されたものと思われます。つまり海食崖の崩落だけでなく、漁業から農業(養蚕)への転換、共同井戸(深さ17m)の利用、新道の整備等の様々な要因が重なって表浜集落の内陸への移転が行われてきたものと思われます。



【図2】地形断面図から見る井戸島の集落移転

「みんなで考え・行動する地域づくり」

田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会の概要

■会長あいさつ

田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会 会長 寺田 孝士

本協議会は平成8年の発足以来27年目になります。六連・神戸・大草そして田原東部の4校区が主体となり、田原市の協力をいただきながら、自立した地域活動を歩み進めて参りました。協議会の活動の一つに「表浜自然ふれあいフェスティバル」があります。この行事は、表浜海岸の大自然の魅力を感じながら、崖森の崩落や海岸侵食の現状を広く知ってもらうことを目的に毎年開催しているものです。地域の方やボランティア、サーフィン協会、田原市立東部中学校など、多くの方々に携わっていただいています。今年度はコロナ禍が明けたこともあり、たくさんの方にご参加いただければと思います。

このようなイベント等を通して、同じ海岸環境を持つ地域との連携をとりながら、行政と一体となって海岸侵食対策、地震対策等に取り組むとともに、太平洋岸地域の快適で住みよい環境整備が実現できるよう活動していきたいと考えております。



今後の協議会の取り組み

- ・太平洋岸の魅力を発信するイベントの開催
- ・海浜・崖森・農地エリアのエリア別の整備促進
- ・渥美半島全体の連絡調整
- ・関係機関への要望活動等の展開

■協議会組織（令和5年11月現在・順不同）

役員	会長	寺田孝士（大草コミュニティ協議会長）
	副会長	佐藤節男（六連コミュニティ協議会長）、浅野正三（神戸コミュニティ協議会長）、富田昌義（田原東部コミュニティ協議会長）
委員	市議会議員	小川金一、柳元浩幸、村上誠、山上勝由
	漁業関係者	河合浩一（愛知外海漁業協同組合幹事）、太田行彦（愛知外海漁業協同組合網元代表）
	市農業委員	磯田豊、大羽光久、富田信茂、河邊高章
	市役所	鈴木正直（副市長）、千賀達郎（農林水産部長）、鈴木隆広（商工観光部長）、鈴木洋充（都市建設部長）、増田直道（教育部長）
顧問		山下政良（田原市長）、山本浩史（愛知県議会議員）、鈴木照彦（愛知みなみ農業協同組合代表理事組合長）
事務局		市役所企画部企画課

●表浜自然ふれあいガーデン 実現に向けての主な動き

海と森と農村における「自然と人」「人と人」のふれあいの庭（ガーデン）をイメージし、その実現のために、海・砂浜・崖・森・農地の保全と利用を図ると同時に、新たにレクリエーション・保養・学習などふれあい機能の導入を図るもの。

ハード事業

◆海岸整備（県事業）

- ◇海岸保全事業（傾斜護岸）：離岸堤調査・工事（豊橋田原海岸）
- ◇海岸治山事業：10箇所要望中・随時実施予定

◆拠点地区の整備促進（市事業）

- ◇公園整備事業：表浜ほうべの森整備（H18～H29）
- ◇観光地維持管理事業：浜田海岸レンタルトイレ1基設置（R5.4月～11月）

ソフト事業

◆表浜自然ふれあいフェスティバル（協議会事業）

- ◇清掃場所：久美原海岸・浜田海岸・百々海岸・東ヶ谷海岸・谷ノ口海岸・南町海岸・大草海岸

●農地エリアの整備 実現に向けての主な動き

ハード事業

◆農村・農地の整備（市事業）

- ◇農村振興総合整備事業：大草・高松地区（H18～）／田原東部地区（H19～）
- ◇多面的機能支払事業（H26～）

表浜タイムズ

整備事業の推進

田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会では、海岸や防風林、保安林などの管理者である愛知県に、海岸保全施設と治山施設整備の要望活動を例年行っています。愛知県によって治山事業も進められていますが、6月の大雨が記憶に新しいように、風水害による影響は避けることができません。

以下の写真は、現在の治山要望箇所の一部です。表浜の自然を守るために、これからも環境整備の促進を図っていきます。



愛知県への要望活動 (R5.9.13)

東部太平洋岸地域における治山要望箇所の一部

六連町西海岸



東神戸町三軒屋



六連町浜辺



第25回 表浜自然ふれあいフェスティバル

令和4年11月26日に表浜自然ふれあいフェスティバルを開催し、海岸清掃を実施しました。地引網も予定していましたが、海岸の状況により中止としました。



たくさんのご参加ありがとうございました!

大草海岸の参加者

令和5年度事業計画

主要事業

第26回表浜自然ふれあいフェスティバル

日時 令和5年11月25日(土)午前9時～午前10時
※悪天候の場合は11月26日(日)に延期

場所 久美原海岸、百々海岸、浜田海岸、東ヶ谷海岸、谷ノ口海岸、南町海岸、大草海岸

内容 海岸清掃

主な推進事業

農村総合整備事業：田原市農林水産部農政課
[大草・高松地区、田原東部地区]

多面的機能支払事業：田原市農林水産部農政課
[六連・神戸・大草・田原東部各地区]

海岸治山事業：愛知県東三河農林水産事務所

海岸保全対策：愛知県東三河建設事務所

谷ノ口公園管理事業：田原市都市建設部街づくり推進課

★表浜地域づくり情報誌「潮騒」や「協議会活動」に対するご意見・ご要望・ご感想をお寄せください。

【発行】田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会(事務局:田原市役所企画部企画課) 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 TEL0531-23-3507